

長野県感染症情報（2018年（平成30年）第35週）

（2018年8月27日～2018年9月2日）

2018年（平成30年）9月5日
 長野県健康福祉部保健・疾病対策課感染症対策係
 （課長）西垣明子（担当）阿部 徹 笠原ひとみ
 026-235-7148(直) 026-232-0111(代)内線2640
 026-235-7170(FAX)
 Email hoken-shippei@pref.nagano.lg.jp

●全数把握感染症

腸管出血性大腸菌は例年に比べ届出数が多い状況です。トイレの後、調理前、食事前などはよく手を洗うとともに、野菜等を生で食べる時は良く洗い、加熱する食品は中心部まで加熱して出来るだけ早く食べきましょう。

百日咳の届出が3例ありました。百日咳の診断には2016年11月から保険収載されたLAMP法が有用であり、迅速かつ特異的に検出することが可能です。

●定点把握感染症

RSウイルス感染症が前週比約2.4倍となり、徐々に増加傾向を示しています。2016年までは年末に大きな流行がみられていましたが、昨年は秋に流行時期を迎えており、今年もこれまで昨年と同様の傾向を示しています。

○次週第36週の発行は、9月12日（水）の予定です。

○風しんについて（長野県ホームページ）

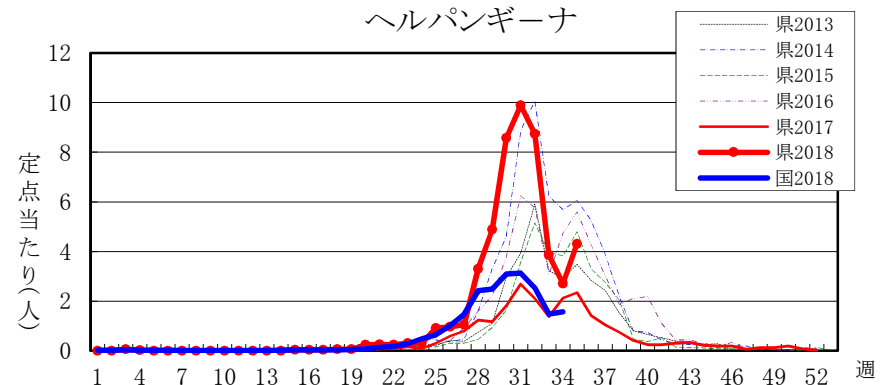
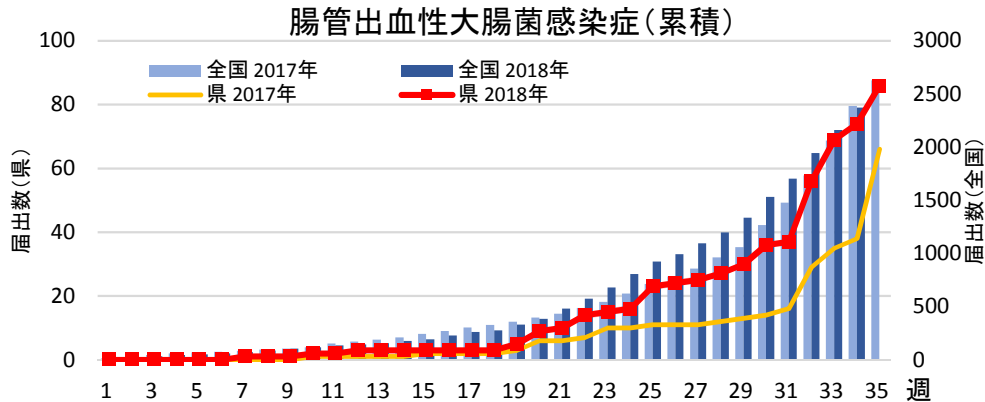
<http://www.pref.nagano.lg.jp/hoken-shippei/kenko/kenko/kansensho/joho/rubella.html>

全数把握感染症届出状況

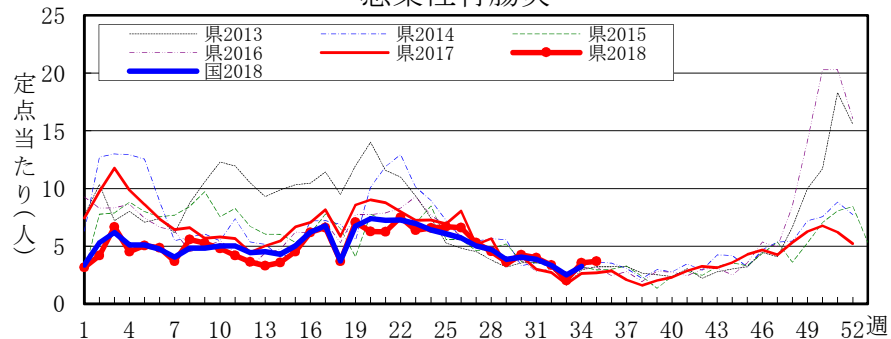
一類感染症	なし
二類感染症	結核 1例、潜在性結核 1例
三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症12例（O26 1例、O121 10例、O145 1例）
四類感染症	A型肝炎 1例、デング熱 1例
五類感染症	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症1例、梅毒4例、百日咳3例
動物感染症	なし

定点把握感染症届出状況

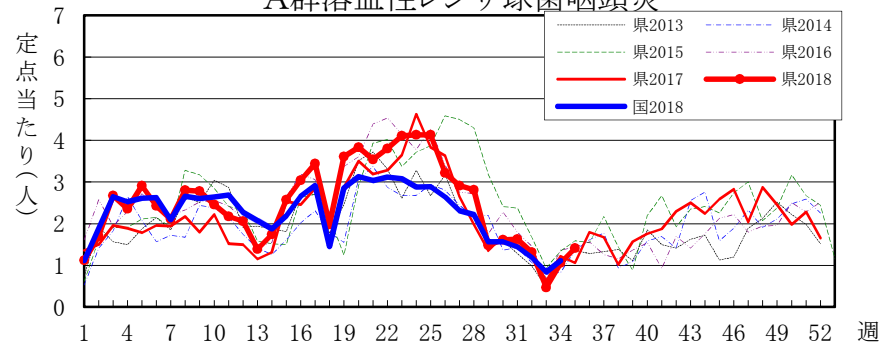
感 染 症 名		今週	1週前	2週前
1	ヘルパンギーナ	4.31	2.71	3.85
2	感染性胃腸炎	3.69	3.56	2.04
3	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.41	1.06	0.47
4	RSウイルス感染症	0.83	0.35	0.30
5	流行性角結膜炎	0.73	0.27	0.45



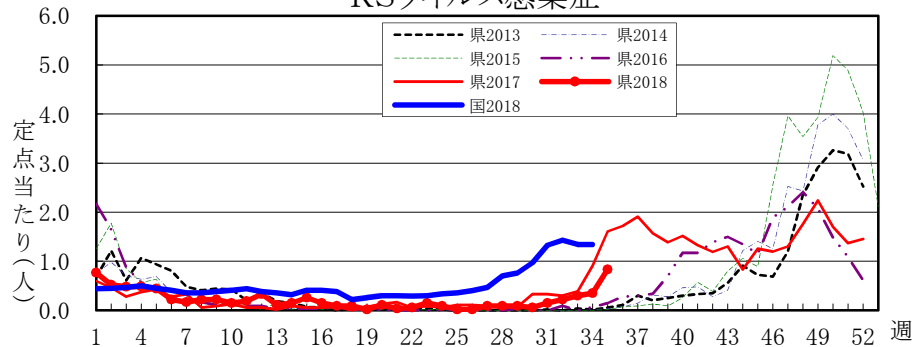
感染性胃腸炎



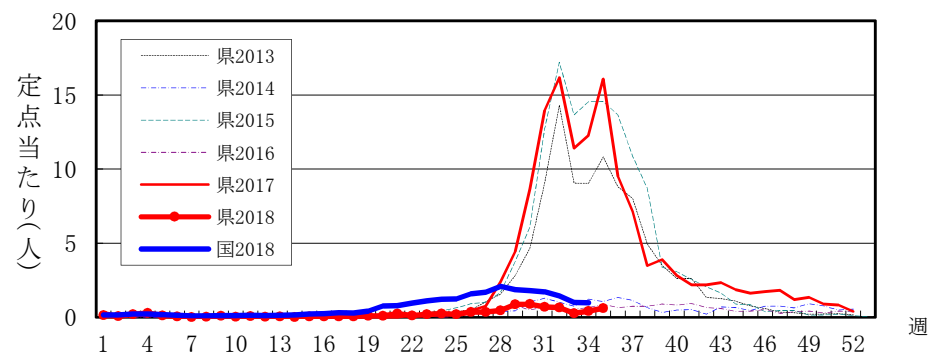
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



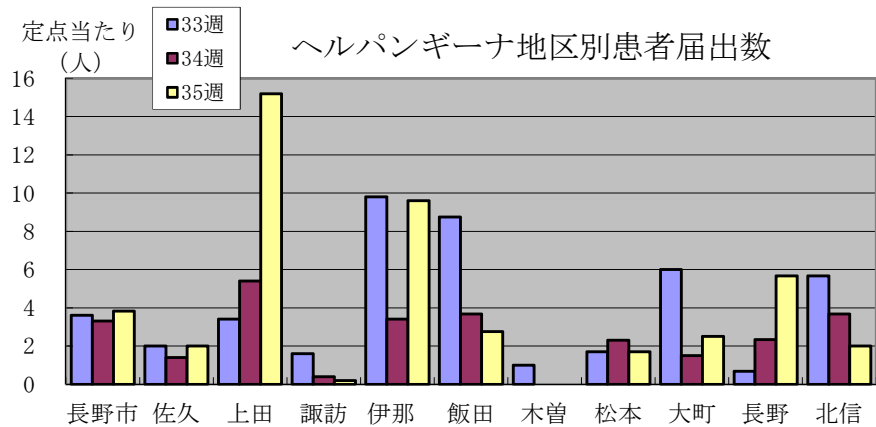
RSウイルス感染症



手足口病



ヘルパンギーナ地区別患者届出数



感染性胃腸炎地区別患者届出数

